



# さようなら手洗い

使用水量は約1/9！

庫内にためた水を循環させ、効率よく洗います。

	手洗い	食洗機
※1 1回あたり	1回あたり	1回あたり
深型の場合	約 83 L	約 9 L
年間節約量		約 54 t (約 54,000 L)

光熱費もこんなに経済的！

	手洗い	食洗機
※1 深型の場合	約 61 円	約 28 円
ガス代	約 33.2 円	約 7.2 円
水道代	約 20.8 円	約 2.3 円
洗剤代	約 7.1 円	約 5.1 円
電気代	—	約 13.0 円

2回/日  
× 365日  
年間約 24,090 円  
おトク！

## 運転経費の算出基準

### ●手洗いの場合

食器・小物※2を10 Lのお湯(40℃)でつけ置き洗いをした後、1本315 mL入り213円(税込)〈総務省小売物価統計調査調べ〉の洗剤を約10.6 mL使用して洗い、食器1点あたり13.5秒、小物1点あたり5.5秒、毎分6 Lの流し湯ですすいだ場合。

### ●食洗機の場合

水温を20℃として給湯60℃接続(本体の近くまで60℃のお湯がきている)の場合。

専用洗剤は1箱600 g入り380円(税込:2017年12月現在)〈当社調べ〉を8.0 g使って「標準」コースで運転した場合。

※1 60℃給湯接続・「標準」コース・約6人分 食器点数44点と小物24点・機種により異なります

※2 約6人分 食器点数44点と小物24点

### ●算出基準料金(税込)

電力料金目安単価: 27円/kWh、ガス料金目安単価: 166円/m<sup>3</sup>、上水道/下水道料金: 252円/m<sup>3</sup>

<日本電機工業会調べ> 2017年12月現在



# すぐ使うとき



専用洗剤入れ

写真・イラストはイメージのため、実際とは異なります。

1 食べ残しを捨てる



2 食器を入れる



3 専用洗剤を入れる



4 洗う

必要に応じてコースを選び

スタート  
一時停止 押す

↓  
ブザーが鳴ったら終了

5 残さいフィルターを洗う



ご使用前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、お使いください。

# 食器を入れる

## 入れ方のコツ

食洗機は、回転するノズルからの噴射水で汚れを落とします。



噴射水がよく当たるように  
汚れた面を内側に向ける



● コップは下向きに。

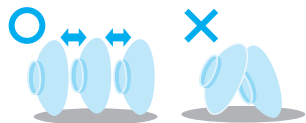
底にくぼみがある食器は  
少し傾ける

● 水の残りが少なくなります。



重ならないように

● 洗い上がりが悪くなったり、  
食器の触れ合う音がしたりします。



食器の入れ方のポイントは、  
web動画でもご覧いただけます。



### 上かご

コップ・小鉢

### 下かご

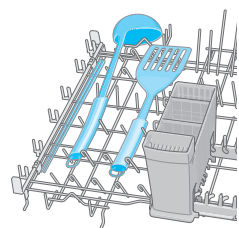
大皿

包丁

刃を下にし、左端に。

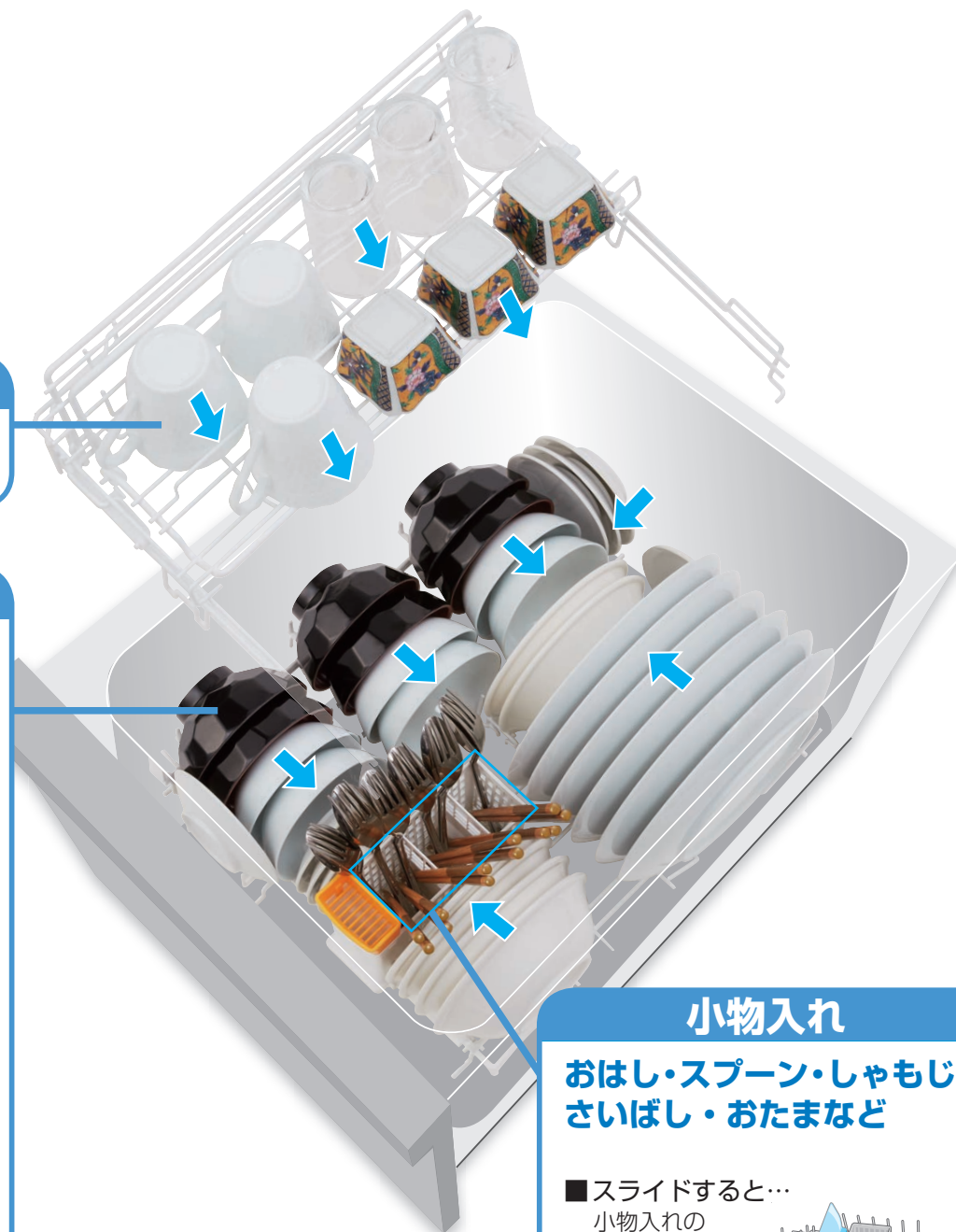
茶わん・汁わん・  
どんぶり鉢

長めのさいばし・  
おたまなど



まな板

汚れている面を  
内側にし、右端に。

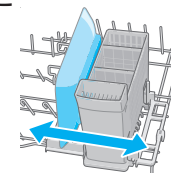


### 小物入れ

おはし・スプーン・しゃもじ・  
さいばし・おたまなど

■ スライドすると…

小物入れの  
左側にも  
食器をセット  
できます。





上かごを動かして、いろいろな食器や調理器具がセットできます。



弁当箱など



コップやグラタン皿など

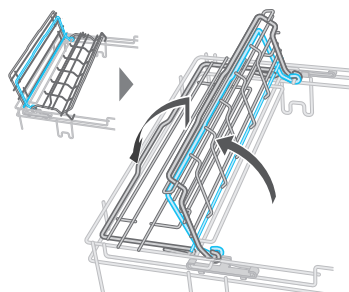
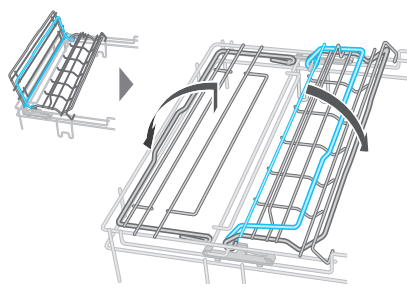
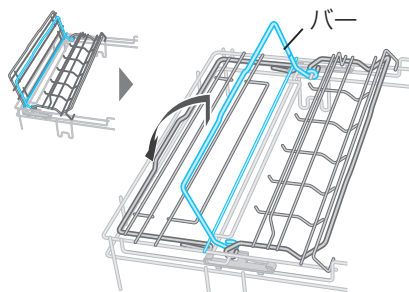


フライパンなど

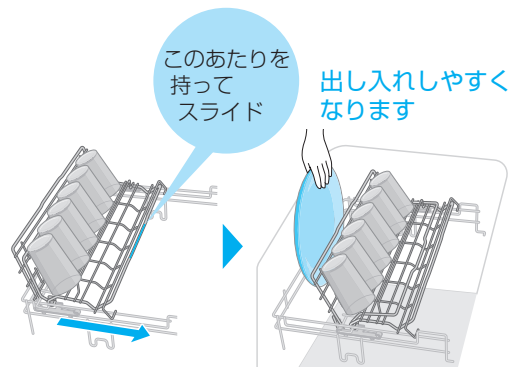


大皿やお茶ポットなど

バー  
噴射による  
裏返りを  
防ぎます。

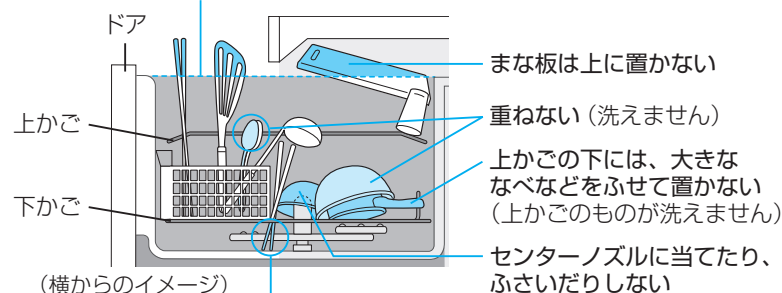


下かごのものを出し入れするときは



ドアを閉める前に確認を

タンクのふちからはみ出さない（本体・食器の破損や水漏れの原因）



（横からのイメージ）

かごの底からはみ出さない（ノズルが回転せず、洗えません）  
→はしなどは、小物入れに確実に入れる。

# 洗い終わったら

運転終了後30分以上経過してから、食器の  
取り出しやお手入れを行ってください。  
（ヒーターカバーなどでのやけどを避けるため）

## 1 食器の取り出し

### 一つずつ取り出す

- まとめて取り出すと、食器どうしが当たって割れ・かけの原因に。

## 2 残さいフィルターのお手入れ

### 使うたびに、外して水洗いする

- 外すと、底部に水が残っていますが、異常ではありません。



### お願い

- 庫内に水やお湯を直接入れないでください。  
（水漏れや異常報知の原因）



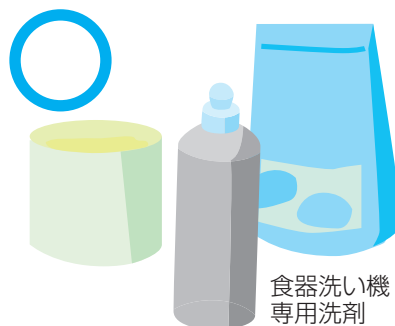
お手入れのポイントは、  
web動画でもご覧いただけます。



# お使いになる前に

## 必ず、食器洗い機専用洗剤をお使いください。

粉末タイプ、ジェルタイプ、タブレットタイプもお使いいただけます。



台所用液体洗剤・重曹は、少量でも使えません。



- 大量の泡が発生するためうまく運転できず、水の使用量も増えます。(洗剤量によっては、水漏れ・故障の原因にも)



- 重曹が固まり、故障の原因になります。

## ⚠ 注意

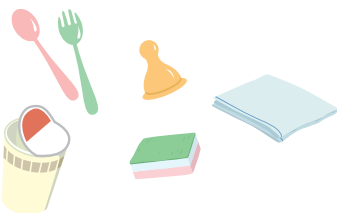


強化ガラス製のものを入れない  
(粉々になって飛び散り、けがのおそれ)



飛ばされやすい軽いものを入れない  
(ヒーターカバーの上に落ちると、発煙・焦げ・変形・においの原因)

- プラスチックのスプーン
- 発泡スチロールの容器
- ほ乳瓶の乳首
- ふきん・スポンジなど



## 事前にこすり洗いが必要なもの

■ なべの焼け付きや焦げ付き  
(なべの外側も確認する)

■ グラタンの焦げ付き

■ 茶わん蒸しのこびり付き

➡ きれいに落ちないため、スポンジ等でこすり洗いしてから入れてください。

● 次のものも、汚れが落ちない場合があります。

- こびり付いた茶渋
- 口紅 (種類によって)
- プラスチック製品に付いた、食物の色素※など

● 食物の色素※が多い場合

庫内やかごに色素が付着することがあるため、あらかじめ水洗いすることをおすすめします。洗剤を多めに入れて、繰り返し使用すると色素の付着が軽減されます。

※ トマトケチャップ、ミートソース、カレーなど



## 洗えないもの

■ 耐熱 90℃ 未満のプラスチック製品

■ クリスタルグラスや銀製・金箔入りの食器、アルミ製・銅製のなべ、鉄製の包丁やフライパンなど

■ 強化ガラス製・ひび割れ模様・漆塗りの食器など

● 取扱説明書も、ご確認ください。

